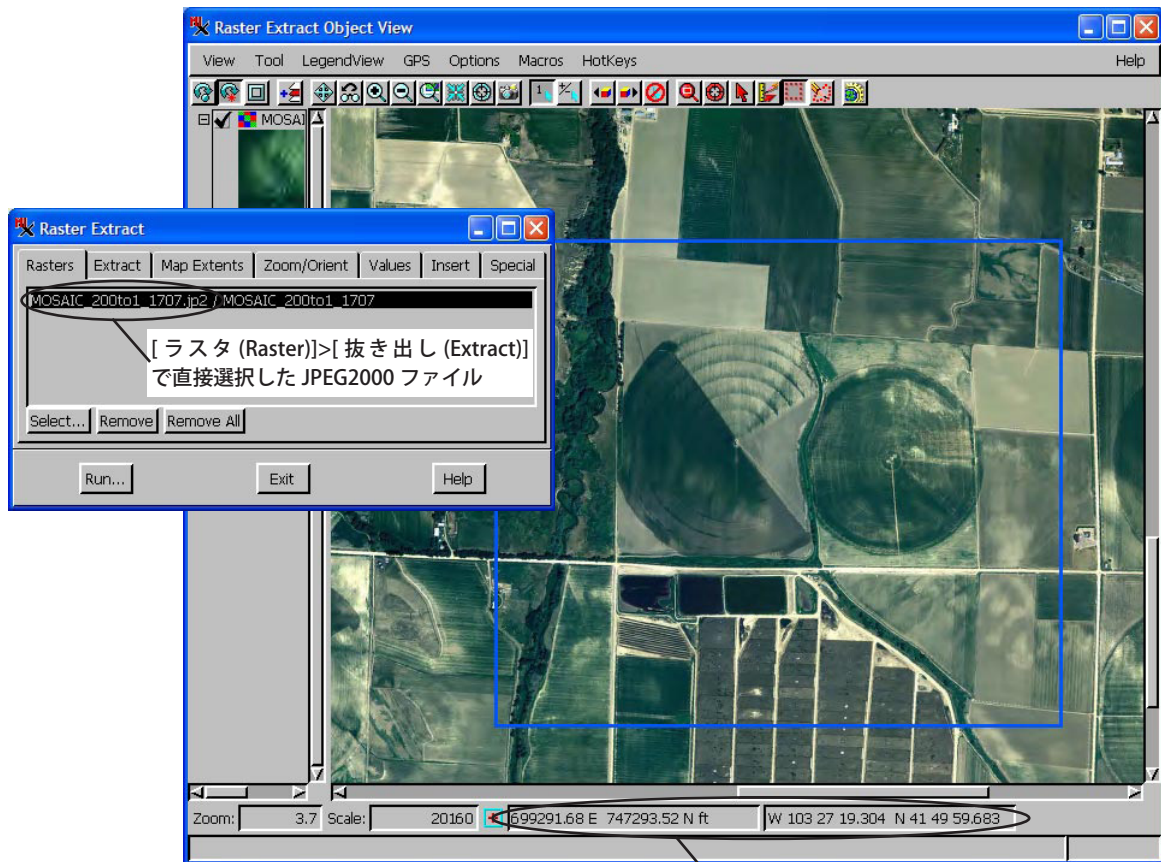


JPEG2000 ファイル (*.jp2) の直接利用

ご存知でしたか?... JPEG2000 圧縮のファイルを、TNT 製品で直接表示したり使用できます。

JPEG2000 ファイルを直接利用することで...

- ファイルをインポートせずに表示できます。
- 大きなファイルを素早く表示できます。
- 「モザイク」や「抜き出し」などの画像欠損が影響しない処理ではラスタオブジェクトとして使えます。
(画像の分類や解析処理で欠損ラスタを使うべきではありません。)
- ラスタのデータティップが使えます。
- インポートせずに TNTAtlas で開けます。
- JPEG2000 圧縮の Part1 互換ファイルをサポートしています。



JP2 ファイルではジオリファレンス情報を、内部メタデータとして含むか、同名のワールドファイル (*.j2w) として持つことができます。

JPEG2000 ファイルを直接利用する方法

*次のいずれかの方法でファイルを選択します。

- ファイルの上でダブルクリックして、新規 2 次元表示ウィンドウを開きます (TNTmips をデフォルトのアプリケーションに設定している場合)。
- ファイルの右クリックから [プログラムから開く (Open With)] オプションを使って TNT 製品を選択します。
- TNT 製品を起動している場合、オブジェクト選択のダイアログでファイルを選択します。

さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください:

他のポピュラーな製品との間の地理データの共有
(Sharing Geodata with Other Popular Products)

